



CSR BOOK

ファッションのワクワクを、未来まで。

OUR SOCIAL RESPONSIBILITY

ファッションのワクワクを、 未来まで。

ファッションには、一人ひとりの毎日を
前向きにしてくれるパワーがある。

この先もずっと、ファッションでワクワクできるように。
環境、人、地域のために、私たちらしく楽しみながら
できることから始めよう。

楽しむことが、続けられるいちばんの力だから。

Play fashion!



TOP MESSAGE

この先の未来もずっと、
ファッションで世界がワクワクし続けられるように。
さまざまな社会の課題をファッションの力で解決し
お客さまや従業員、地域社会とともに
新しい価値を楽しく創造していける、
そんな企業でありたいと思っています。



代表取締役会長兼社長

福田 玄子男

INTRODUCTION

CSR重点テーマ

私たちの事業は、
地域や自然など広い視点から身近な人・もの・コトに至るまで、
様々な社会とのつながりによって成り立っています。
しかし今、温暖化や少子高齢化、地方の過疎化など、私たちが暮らす社会には
事業を継続していくうえで向き合うべき課題が数多く存在しています。
私たちはこれらの社会課題と事業との関連性を考慮し、
取り組むべき3つの重点テーマを定めています。



環境を守る

事業による環境負荷を低減させ、
ファッションの世界をサステナブルにします。



人を輝かせる

お客さまも、従業員も、関わる誰もが
毎日ワクワクできる環境をつくれます。



地域と成長する

地域社会と共生し、
ともに新しい価値を創ります。

ENVIRONMENT



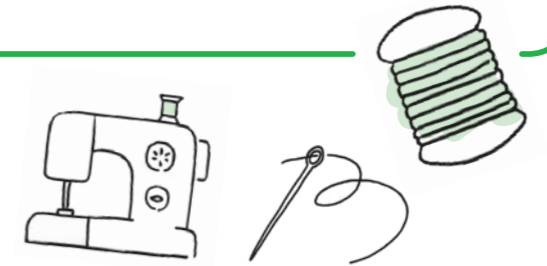
環境を守る

私たちの商品やサービスがお客さまのもとへ届くまでの間に、
 多くの資源やエネルギーを使用しています。
 環境問題が世界規模で深刻化していくなか、
 課題の解決に向けて継続して活動することが必要です。
 私たちは事業による環境負荷の低減を推し進めることはもちろん、
 サステナブルなファッションの楽しみ方も提案していきたいと考えています。

VISION

未来に繋がるものづくり

事業の環境負荷を下げる取り組みとして、商品の素材や加工方法などを見直し、
 ものづくりをサステナブルにしていくことを目指しています。
 課題は幅広く多岐に渡りますが、できることからひとつずつ着実に取り組みを始めています。



CASE 01

私たちの商品は多くのコットンを使用しています。2025年までにコットンを使用した全ての商品にサステナブルな原料を取り入れることを目標に、積極的に使用を進めています。



studio CLIP 柄ワイドテーパードパンツ



BARNYARDSTORM ダブルポケットシャツ



mysty woman メッセージロゴロンT



CASE 03

畑のお世話を通じて環境にやさしいものづくりの大切さや過程を学ぶ活動として、渡良瀬エコビレッジでの和綿の有機栽培に従業員が参加しています。



CASE 02

リサイクル素材や植物由来などのサステナブルな素材の使用、水使用量の少ないオゾンブリーチ加工など、コットンに着目した取り組み以外にも、ものづくりにおける環境負荷の低減に取り組んでいます。



BAYFLOW デニムスリムリペア20SS



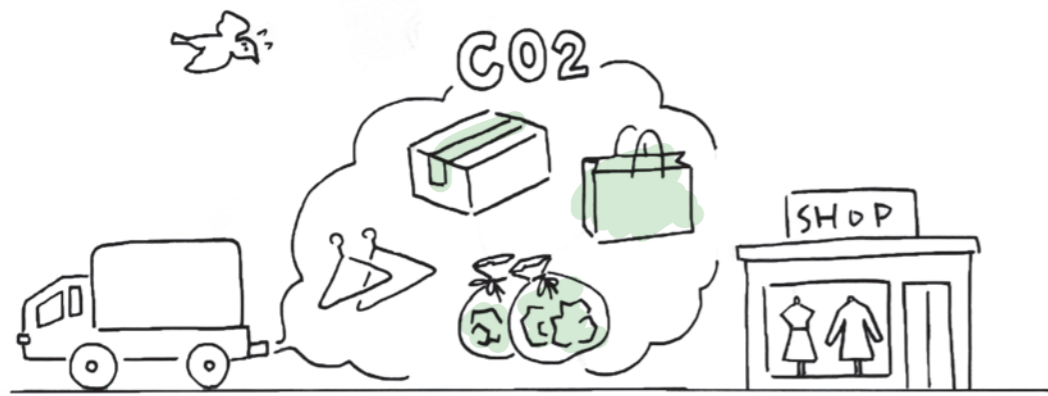
niko and ... ECOフィールドパーカー



VISION

環境への配慮と営業活動の両立

ファッション業界をサステナブルにするためには、
商品やサービスをお客さまにお届けする過程においても環境へ配慮していくことが大切です。
まず第一の取り組みとして、私たちはマイバッグの利用を推進し、
環境への負荷を減らす活動を始めています。
こうした活動を通じてお客さまとともに
「サステナブルなショッピングスタイル」を共創していきたいと考えています。

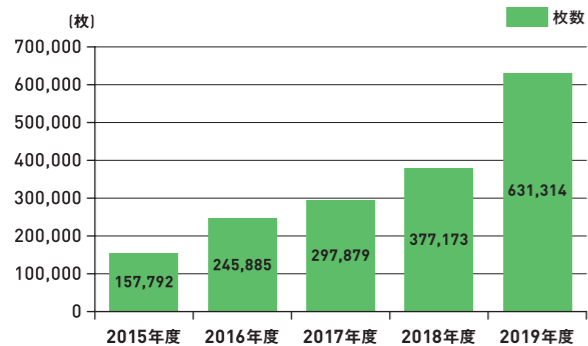


CASE 01

ショッピングバッグの辞退で会員ポイントが付与される「REBAG PROJECT」は、多くのお客さまにご参加いただき、5年間で累計171万枚のショッピングバッグを削減しました。消費資源の削減になるだけでなく、どなたでも楽しみながら気軽に参加できる活動を心がけて取り組んでいます。



【ショッピングバッグ削減枚数の推移】



CASE 02

自分らしいスタイルやその日のコーディネートに合わせてマイバッグを選ぶことから楽しんでいただけるよう、マルチブランド展開を活かして、多くのブランドでサステナブルな原料を使ったエコバッグを販売しています。



Re BORN to BAG



残反を再利用したエコバッグ

取り組む意味を私たちが伝え続けることで、環境への配慮という姿勢にお客さまから賛同をいただいています。

GLOBAL WORK
イオンモール東員店
小林店長



エコバッグを持参いただくことで『環境にやさしく楽しいショッピングスタイル』を、お客さまにも実感していただけるよう取り組んでいます。

studio CLIP イオンモール扶桑店
牛田店長



STAFF'S VOICE

現場スタッフの声



マイバッグをお持ちでない会員様にも、次回ご持参いただくとポイントが付けられることをお伝えするようにしています。

LEPSIM
イオンタウン防府店
尾崎店長



環境のためにお客さまと私たちが一緒に取り組めることとして、REBAG PROJECTがコミュニケーションのひとつとなっています。

studio CLIP
モレラ岐阜店 棚瀬店長



他店のショッピングバッグへのおまとめの提案や、お取り寄せやお取り置きのお客さまにも事前にマイバッグ持参をアナウンスしています。

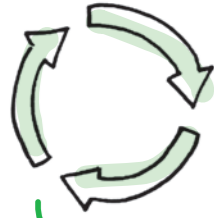
GLOBAL WORK
ゆめタウン廿日市店
小田川店長

ファッションロスのない世界

ファッションロス（衣料品廃棄）は私たちファッション業界にとって重要な課題です。

そこで私たちは衣料品在庫の焼却廃棄をゼロにすることを決定しました。

商品を「作りすぎず、活用し、循環させる」を基本姿勢とし、燃やさない、捨てないためのさまざまな取り組みを行っています。



CASE 01

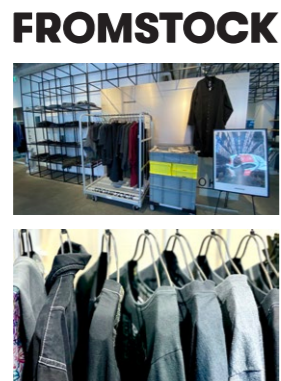
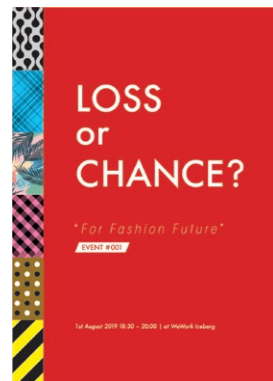
商品を作りすぎず適正な量を生産するため、発注のタイミングや販売数量の予測精度を向上させるほか、試作段階で多くの従業員が商品进行评估できる仕組みを整えています。



CASE 02

企業の垣根を超えて、在庫廃棄問題について議論しあう For Fashion Future の開催や、その中で誕生したアップサイクリングブランド「FROMSTOCK」などを通じて、課題解決に取り組んでいます。

また緊急災害対応アライアンス「SEMA」に加盟し、在庫を災害支援物資として活用する取り組みも始めています。

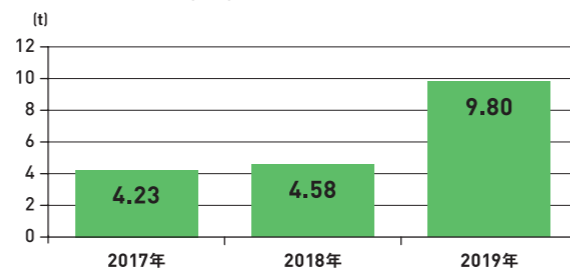


CASE 03

お客さまの不要な衣料品を回収し新しい資源にリサイクルする取り組み「Play Cycle!」や、着られなくなった子ども服のシェアリングサービス「KIDSRÖBE」を通じて衣類が廃棄されないための工夫をしています。



【衣料品回収「Play Cycle!」の実績】



PEOPLE DIVERSITY



人を輝かせる

私たちの事業は、お客さまや従業員をはじめとする多くの「人」によって支えられています。国内の少子高齢化やお客さまニーズの多様化によって、企業が果たすべき役割は常に変化し続けています。

アダストリアでは、すべての人がファッションによって、それぞれの人生やキャリアを楽しむことができるよう応援することが、私たちの果たすべき責任と考えています。

今後も私たちらしく、できることからひとつずつ取り組んでいく考えです。

VISION

多彩な個性を伸ばし成長する組織

私たちは年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向などに関わらず、
 多様な個性を尊重し認め合うことを重視しています。
 従業員一人ひとりが多種多様な力を発揮することによって、
 これまでになかった視点での活発な議論が起こり、
 企業としての成長へつながると考えています。
 従業員がそれぞれの能力を十分に発揮し活躍できる環境や仕組みを整えるほか、
 キャリアをバックアップする取り組みを進めています。



CASE 01

従業員のさらなるステップアップのため接客ロールプレイング研修を実施し、優れた接客スキルを持つ認定者には証としてSSC (Service Skill Certification) バッジが贈られます。

また新規事業の社内公募プロジェクト「プロジェクトA」によりビジネスディレクターを経験する次世代を育成しているほか、未来を担う若者の夢を応援する中高生の職場体験活動を実施しています。



SSC バッジ



職場体験



接客ロールプレイング大会



プロジェクトA 最終選考プレゼンテーション



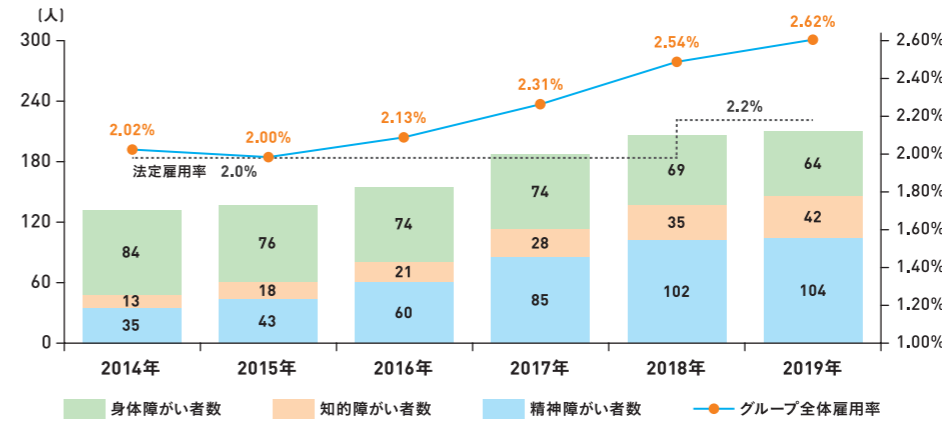
CASE 02

アダストリアグループではさまざまな個性を持つ従業員が働いています。セクシュアリティの違いに対する理解を深め、互いに認め合うことを目的とした社内研修を行っているほか、(株)アダストリア・ゼネラルサポートでは障がいを持つスタッフが能力を十分に発揮し活躍の幅を広げられるよう、きめ細やかな支援を行っています。

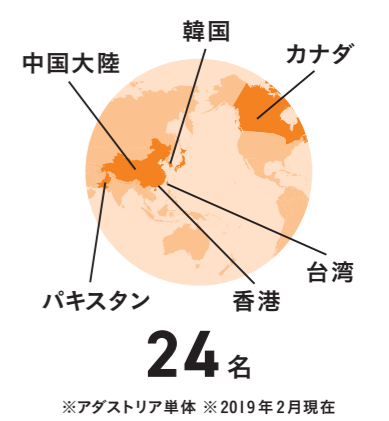


社内研修 ADASTRIA DIVERSITY MEET UP

【障がい者雇用率の推移】



【外国籍社員数】



CASE 03

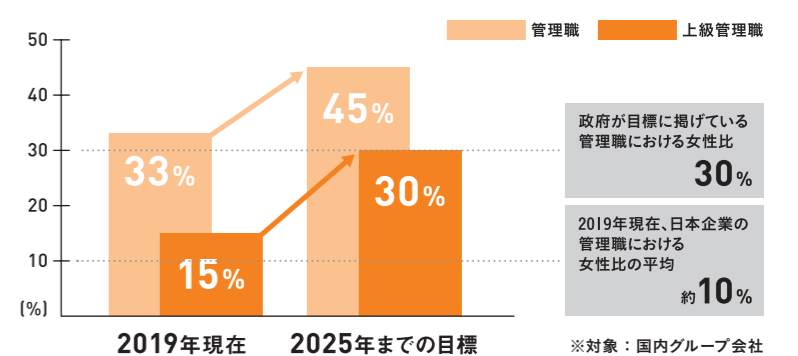
アダストリアグループでは従業員の過半数以上を女性が占め、多くのブランドで女性を主要な顧客層としています。また幅広いニーズに対応した商品開発や、サービス品質の向上のためには組織の多様性が重要だと考えています。

こうした背景から、まずは上級管理職の女性比率を2025年までに30%以上に引き上げることを目指し、社内講演会等を通じて女性のキャリアアップ支援に取り組んでいます。(上級管理職=部長職相当以上)



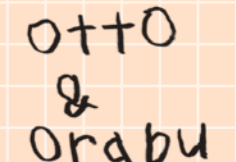
社内講演会 A DIVERSITY MEETING

【女性管理職比率目標】



TOPICS

ニコアンドのCM楽曲に、社会福祉法人太陽会「しょうぶ学園」のパーカッション&ヴォイスグループ「otto & orabu」を起用。力強く自由な音楽がブランドの世界観にマッチした、印象的な映像に仕上がっています。



自分らしくファッションを楽しめる社会

お客さまのニーズがますます多様化するなか、多くのお客さまにご満足いただけるよう、マルチカテゴリーおよびマルチブランドで商品やサービスを展開しています。
一人ひとりのお客さまに寄り添ったご提案をするのももちろんのこと、ファッションを通じて、それぞれの持つ個性を輝かせることができるよう取り組んでいく考えです。



CASE 01

LGBTQsに対する理解を促進し、あらゆるセクシュアリティの方がファッションを楽しめるよう、「TOKYO RAINBOW PRIDE」への参加やカミングアウト・フォト・プロジェクト「OUT IN JAPAN」の活動を支援しています。



OUT IN JAPAN



TOKYO RAINBOW PRIDE

CASE 02

障がいのある方が抱えるおしゃれの悩みや課題を理解し、ワークショップを通して共に解決策を見つける「コオフク塾 from A」に素材を提供し、活動の支援を行っています。



コオフク塾 from A (photo by 長浜谷晋)

COMMUNITY



地域と成長する

店舗の出店や商品の生産、物流拠点など、私たちはグローバルにビジネスを展開しています。

今後もファッションがもたらすワクワクを継続させるためには、国内外に関わらず、グローバルな思考で地域のニーズや特性をくみ取り、ファッションの力でともに新しい価値を築いていく必要があります。

私たちがビジネスを展開することによって、その地域が活性化され、社会が発展するような「なくてはならぬ存在」を目指し、企業活動を行っています。

VISION

ファッションを通じた出店地域の活性化

国内外のさまざまな地域に出店している私たちにとって、地域との関わりはとても重要です。支店制度によって地域ごとのニーズに応じた店舗運営を行っているほか、創業地である茨城県水戸市への貢献活動も実施しています。地域ごとに抱える課題は様々ですが、ファッションの力でともに解決し、未来に向かって新しい価値を創っていききたいと考えています。



CASE 01

支店制度によって日本国内の店舗を6つの地域に区分し、ヨガやお仕事体験など地域密着型のイベントを開催しています。またその地域ならではのショップとのコラボレーション商品を販売し、地域の活性化へ向けて取り組んでいます。



studio CLIP オーガニックコットントートバッグ

CASE 02

東日本大震災後の復興支援として東北コットンプロジェクトへの参加や、HAREではSamurai ALOHAの商品を通じて、東北の被災地で雇用を生み出しています。ほかにも災害が起こった際には商品を災害支援物資として寄付する仕組みも整えています。



CASE 03

創業地である茨城県水戸市の継続的な発展のため、水戸室内管弦楽団への支援やプロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」に所属する茨城ロボットのオフィシャルスポンサーを務めています。



水戸室内管弦楽団

VISION

生産地域の持続可能な発展

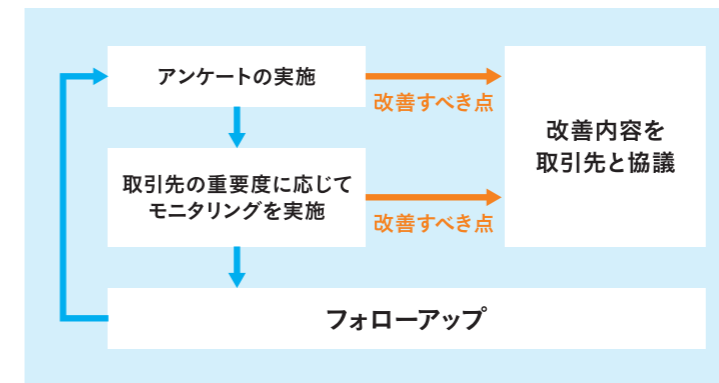
世界のさまざまな地域で私たちの商品は生産されており、その地域の持続的な発展は品質の高い商品を安定的に調達することに繋がります。ともに成長し合い、良好なパートナーシップのもとで商品を調達し続けるために、私たちは調達方針とガイドラインを定め取引先に遵守を求めています。また、より良いパートナーシップ関係にある自社生産背景の工場をパートナー工場として認定する取り組みも実施しています。2023年にはほとんどの自社生産背景の商品をパートナー工場で生産できるよう進めていきます。



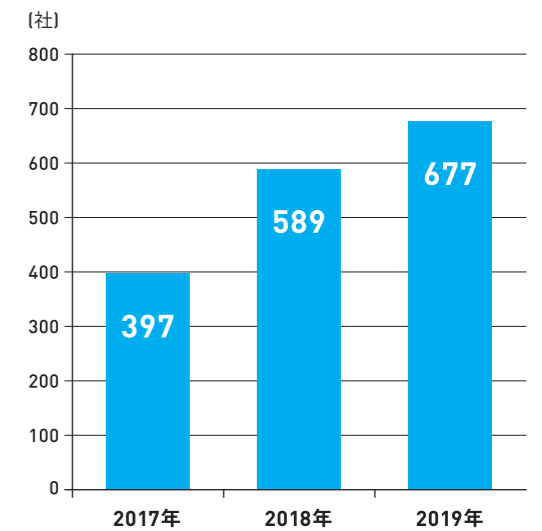
CASE 01

調達方針とガイドラインには人権の尊重や労働環境の整備、環境への配慮を明記し、これらに沿って取引を行っています。またガイドラインに沿った取引先へのアンケートの実施や、工場への訪問を通じて定期的に遵守状況の確認を行っています。

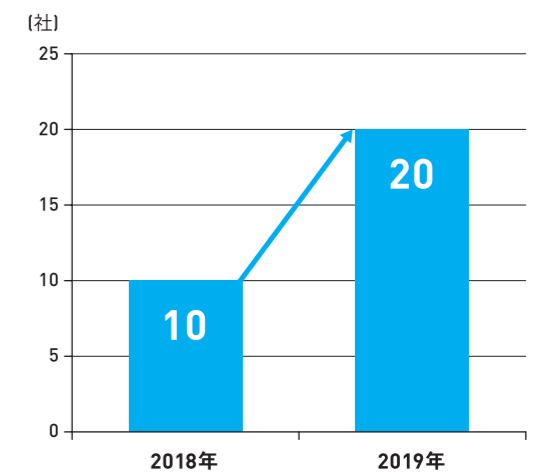
【CSR 調達モニタリングフロー】



【ガイドライン誓約書締結社数の推移】



【パートナーシップ認定工場数の推移】





なくてはならぬ人 なくてはならぬ企業であるために

アダストリアグループは企業理念「なくてはならぬ人となれ なくてはならぬ企業であれ」のもと、
公正、公平かつ透明性をもって事業を展開します。
そのために社会ルールの順守や人権の尊重などを明記したグループ倫理規準を定め、
全従業員がこれに則って業務にあたっています。
常に自分を律し、高い倫理観を持って行動することを大切にしています。

社内に対する取り組み

ハラスメントを防ぐ取り組みとして、就業規則にハラスメント行為の禁止を明記しているほか、社内研修を行っています。

また外部弁護士やホイッスルラインコーディネーターにつながる内部通報制度を整備し、従業員が声を上げやすい環境を整えています。

万が一、社内で事故や不正が起こった場合は危機管理担当者や内部監査部によって、原因の調査および今後の対策を速やかに行います。



社外に対する取り組み

社内だけではなく購買関係においても、公平、公正かつ透明性のある取引を行うため取引先ホットラインを設けているほか、内部監査部によるアンケートを年に1度実施し、公正な取引関係が保たれているかを確認しています。

また生産工場における人権を尊重する取り組みとして、児童労働や不当労働の禁止等を明記したグループの調達方針およびガイドラインを整えています。



A

ABOUT US

名称 | 株式会社アダストリア
本部住所 | 東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ27階
電話番号 | 03-5466-2010(代表)
設立 | 1953年10月22日
資本金 | 2,660百万円
事業内容 | 衣料品・雑貨等の企画・製造・販売



csr.adastria.co.jp



@adastria_official

A D A S T R I A

Play fashion!

